

令和5年度 実習生受入事務所一覧表

所在地	事務所	受入予定人数	時期	期間	テーマ	実習内容	
山形県 西置賜郡小国町	飯豊山系砂防事務所	1	8月下旬～9月上旬	1週間	飯豊山系の砂防事業について-自然環境との調和を目指した砂防事業-	・磐梯朝日国立公園や飯豊連峰など自然環境との調和を目指した砂防事業について、現地調査や砂防設備点検を体験。 ・地域を土砂災害から守る土流危険度調査対策等の工事監督等の現場体験。	
新潟県	村上市	羽越河川国道事務所	2	8月下旬～9月上旬	1～2週間	清流荒川、北陸で最初の石ダムと最新の横川ダム、日本海沿岸東北自動車道の管理ならびに国道7号 朝日温海道路の工事監督	・平成20年に「平成の水百選」にも選定された「清流荒川」の河川管理及びダムの管理 ・県北地域に安全安心なサービスを提供する「日本海沿岸東北自動車道(高速道路)の道路管理実務、ならびに国道7号 朝日温海道路の工事監督
	新潟市	新潟港湾・空港整備事務所	1	7月中旬～8月下旬	2週間	新潟の人流と物流を支える「国際拠点港湾」新潟港の港湾整備を体験	[新潟港] ・経験する機会があまりない海洋土木構造物の施工の最前線を体験 ・新潟港は、海外と交易する多数の地元企業が物流拠点として利用している国際拠点港湾 ・実習は、新潟港の航路地付帯施設の整備、新潟港の浚渫事業の現場実務等を体験
		新潟港湾空港技術調査事務所	1	7月下旬～9月上旬	2週間	港湾施設の設計、港湾施設の設計に用いる水理実験手法、港湾施設の観測データの解析手法	・海洋土木構造物の設計を体験 ・ドローンやマルチセンサーを利用した港湾施設等の現況確認を体験 ・新潟港湾空港技術調査事務所は、管内(新潟県、富山県、石川県、福井県)の重要な港の施設を設計を担う唯一の事務所 ・設計においては、波の推算、地盤の強度、構造物強度、入港船舶との関係による岸壁サイズの検討などの知識が習得できる ・水理模型実験においては、国内最大級の物理模型実験施設において、港湾構造物への複雑な波の伝わり方を観察し実験手法を学べる ・実習では、臨港道路(新潟みなとトンネル・新湊大橋)の健全性を把握するための観測データの解析手法、港湾施設の設計方法等を習得する
		北陸地方整備局 営繕部	2	7月下旬～9月下旬	10日間程度	公共建築の設計等について	・設計プロポーザルで求める技術提案書の作成体験 ・庁舎の工事現場見学 ・免震構造を採用した庁舎のバックヤード見学 ・若手職員との意見交換会の実施
		信濃川下流河川事務所	1	8月下旬～9月中旬	2週間	低平地を流れる信濃川下流域の治水事業 ～設計、施工から河川管理～	・日本一の河川延長を誇る信濃川 その下流域で「洪水を安全に流す」ために行っている河川整備について、計画・設計、工事、河川管理を実務を含めて体験(例:工事現場監督業務、水文観測、河川パトロール等)。 ・関屋分水路通水50周年イベントへの参加。 ・海岸侵食が著しい新潟海岸で、国が行っている海岸保全施設整備についても実務を含めて体験。 ・水辺の活用取り組み(例:ミスベリリングやすざらぎ堤、ミスベリリング三条) ・事務所在籍の若手職員との意見交換会の実施。
		阿賀野川河川事務所	2	7月上旬～8月下旬	2週間	阿賀野川下流域における治水事業～河川、砂防、地すべり対策の取り組み～	日本有数の大河阿賀野川における地域の安全安心を支える河川事業、砂防事業及び国内最大級の滝坂地すべり対策事業並びに豊かな河川環境の保全・再生の取り組みについて、 ・水文観測所点検、流量観測、データとりまとめ等の調査実習 ・工事現場安全パトロール、河川巡視、地すべり点検、地すべり模型実験、情報発信体験
		新潟国道事務所	2	7月上旬～9月下旬	1～2週間	新潟の背骨を支える大動脈「新潟バイパス」の道路管理 及び 本格的なメンテナンスの実践等	・全国有数の交通量(10万台/日)を支える新潟バイパス等の道路管理業務(パトロールなどの日常管理)の現場実務を体験 ・道路の安全、安全を支える道路構造物のメンテナンスに関する講義や構造物補修工事の監督実務を体験 (その他、管内主要事業の現場見学、講義等も実施予定)
	長岡市	長岡国道事務所	2	8月下旬～9月上旬	2週間	新潟県中越地域で求められる道路行政について	中越地域に求められる道路の整備や管理について学び、体験する。 ・中越地域の道路事業について(各行政機関と民間の役割) ・道路整備のための調査、設計体験及び工事現場見学 ・道路を管理するための道路巡回、構造物点検(インフラメンテナンス)及び災害対応(座学・体験) ・日本海側と太平洋側を結ぶ重要路線と雪について(座学・体験)
		信濃川河川事務所	2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	日本一の大河 信濃川中流域の治水事業 ～流域の安心・安全を守り、発展を支える取り組み～	・信濃川の洪水から越後平野を守り、また、多くの恵みを育む豊かな水を利用するために日夜夜り続けている大河津分水路や大河津可動堰をはじめとした大規模河川管理施設を見て役割を学ぶ。 ・大河津分水路河口部で実施中の「令和の大改修」の計画・工事現場を体験するとともに、2022年大河津分水通水100周年の広報活動への参加。 ・令和元年東日本台風の影響を受けて立ち上げた「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」や、令和3年にとりまとめられた信濃川水系流域治水プロジェクトの推進のための現地調査や検討等を体験。 ・河岸段丘から扇状地、氾濫原へと地形の変化に富んだ信濃川を河川パトロールを行う事により体験 ・地域を守るため、現在行われている河川改修工事の施工管理を体験
		国営越後丘陵公園事務所	1	7月下旬～8月下旬	1～2週間	国営越後丘陵公園の利用状況調査と利用促進計画の企画検討	日本海側唯一の国営越後丘陵公園の利用促進に向けた調査及び計画の実務
上越市	高田河川国道事務所	3	7月下旬～9月下旬	1～2週間	上越地域の特性を活かした街づくりと防災強化	・関川及び姫川の洪水特性に応じた河川整備メニューや河川管理の工夫のほか、かわを中心とした水文化等など。 ・日本海特有の厳しい気候に対応した(越波や塩害)国道の整備、維持の方法や、生活基盤の幹線軸となる道路計画の実務など。	
南魚沼市	三国川ダム管理所	1	7月下旬～9月上旬	1週間	地域に開かれたダムとして地域の人たちや観光客に親しまれるダム管理	・地域に開かれたダムとして、「ダム地下通路」等の施設見学について学ぶ。 ・雨量、貯水位、流入量、放流量等のダム諸量データの収集整理、ダム変異観測及び貯水池などのダム管理を体験する。 ・その他、ダムにおける防災対応や環境への取り組みなども学ぶ。	
富山県	富山市	伏木富山港湾事務所	1	7月中旬～8月中旬	2週間	伏木富山港の役割と港湾整備による地域への波及効果を実地で学ぶ	・日本海側では数少ない「国際拠点港湾」(国際海上貨物輸送網の拠点として港湾法に定義)の一つである伏木富山港は、伏木・新湊・富山の3地区から形成され、日々の生活や産業に欠かせないエネルギーの確保や地域経済活動の拠点としての機能を果たしている。 ・本実習では、当事務所が保有する船舶(港湾業務艇)により3地区の利用状況、特性・役割を実地で学び、当事務所が実施している港湾整備に係る現地工事(防波堤や岸壁の改良工事)の現場実務(工事監督など)を体験する。
		富山河川国道事務所	2	7月中旬～9月下旬	1～2週間	交通の大動脈である国道8号をはじめとする国道の調査・計画から工事現場監督、維持管理業務の実務について	・富山県内で新たな国道整備に向けた調査・計画から事業実施までの実務 ・大規模な工事現場の監督業務補助 ・道路パトロール実務等の維持管理業務
	黒部市	黒部河川事務所	2	7月下旬～9月上旬	1週間	水系一環事業の調査・計画・管理・施工	・日本でも屈指の急流河川である黒部川の河川事業全般に関する実務 ・豊かな自然環境と調和した黒部川上流域の砂防事業全般に関する実務 ・全国でも侵食の激しい海岸として有名な新川海岸の海岸事業全般に関する実務 ・直轄ダムでは初めてとなる土砂を排出する排砂設備を有する宇奈月ダムでの点検作業等の実務
		立山町	立山砂防事務所	2	8月上旬～8月下旬	1週間	常願寺川水系の砂防事業 一現在の暮らしと砂防一
	砺波市	利賀ダム工事事務所	2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	人々の暮らしと産業に恩恵をもたらした、地域の歴史、文化を育んできた庄川との関わりを再認識 ー 新たな治水の歴史を刻む利賀ダム建設事業の役割 ー	・地域と共に庄川流域の安全・安心を築く利賀ダム建設事業を学ぶ ・転流工、ダム工事用道路(トンネル等)の工事監督などをインフラ分野のDX(遠隔臨場、BIM/CIM)で体験。
	石川県	金沢市	金沢河川国道事務所	1	8月中旬～9月下旬	2週間	石川県の治水事業 ～治水事業(河川、砂防、ダム、海岸)を金沢河川国道事務所ですること体験～
			1	8月中旬～9月下旬	2週間	石川県内における直轄道路事業 ～調査・計画、工事、維持管理についてパッケージで体験～	・金沢河川国道事務所管内における直轄インフラ整備、維持管理等の業務運営実習 ・能越自動車道 輪島道路等での工事監督 ・能登、金沢、加賀国道維持出張所管内の道路維持管理業務
金沢港湾・空港整備事務所		1	7月上旬～9月下旬	1～2週間	地域経済を支え、賑わいを創出する金沢港等の港湾整備事業を体験	・金沢港で進めている防波堤工事及び浚渫工事等の現場実務(工事監督)を体験。港湾工事におけるICT技術の活用状況について学習。 ・港湾業務艇による海上施設の点検及びUAVを用いた操縦訓練を体験。 ・金沢港、七尾港等の利用状況を調査。地域経済を支える各港の役割や港を中心とした賑わい創出の取組を学習。	
福島県	会津若松市	阿賀川河川事務所	2	7月下旬～9月上旬	2週間	会津地域を潤す阿賀川流域の治水事業 ～阿賀川・大川ダムの工事、管理～	・阿賀川下流域河道掘削事業をはじめとする改修工事を通して、工事監督を体験。 ・河川巡視及び河川法許可の実務体験。 ・大川ダムの施設点検を通して、大規模施設の役割、日々の施設管理の重要性を学ぶ。
長野県	大田市	大町ダム管理所	1	7月中旬～9月中旬	1週間	下流地域の安全と環境を守るダム管理	・ダムの安全性及び機能を長期的に保持するための施設点検・監視 ・環境に配慮したダム放流の調査検証 ・ダム管理諸量に関する取りまとめ検証等 受け入れの場合は、工事・業務委託の工程によっては、現場実習または現場見学を設定する。
	松本市	松本砂防事務所	1	8月21日～8月25日	5日間	北アルプス(信濃川、姫川)における貴重な自然といのちとくらしを守る土砂災害対策	北アルプスは日本有数の山岳景勝地として、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである。 この地域における自然環境・景観・観光客・地元(生活)に、防災という観点から砂防事業が果たす役割を、現地調査や現場体験等を通して体験。
福井県	敦賀市	敦賀港湾事務所	1	7月下旬～8月上旬	1週間	地域の経済・物流を支える敦賀港の港湾整備事業を学ぶ	・福井県敦賀市に所在する敦賀港は、福井県内はもとより背後圏である関西圏・中京圏と北海道・九州を結ぶ定期航路を有し、地域や背後圏の経済を支える重要な役割を担っている。 ・日常生活では見聞きする機会が少ない海洋土木構造物の施工の最前線を体験する。現在、敦賀港で整備を進めている防波堤(改良)事業の現場実務体験するとともに、敦賀港が担う役割等について学習する。

※実習内容は募集開始時の予定であり、変更となる場合がある。